



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年9月24日

上場会社名 スギホールディングス株式会社
 コード番号 7649 URL <http://www.drug-sugi.co.jp/hd>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎原 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 笠井 真

TEL 0562-45-2744

四半期報告書提出予定日 2019年10月11日

配当支払開始予定日

2019年11月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	263,701	8.1	14,776	14.8	15,664	16.1	10,461	16.9
2019年2月期第2四半期	243,940	6.3	12,871	2.4	13,492	3.2	8,950	3.1

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 10,573百万円 (15.2%) 2019年2月期第2四半期 9,178百万円 (5.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	169.24	
2019年2月期第2四半期	142.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	301,504	174,972	58.0	2,830.63
2019年2月期	265,481	166,563	62.7	2,694.59

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 174,972百万円 2019年2月期 166,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		35.00		35.00	70.00
2020年2月期		40.00			
2020年2月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	6.5	28,000	8.5	29,000	6.5	18,300	2.0	296.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	63,330,838 株	2019年2月期	63,330,838 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	1,516,836 株	2019年2月期	1,516,791 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	61,814,010 株	2019年2月期2Q	62,873,968 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年3月1日~2019年8月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の長期化等が国内経済に与える影響とともに、消費税率の引き上げに伴う消費動向への影響等、依然として先行きに対する不透明感は強まっております。

ドラッグストア業界におきましても、競合他社との出店競争や業界の垣根を越えた販売競争の激化、人手不足や人件費の高騰等、当社グループを取り巻く経営環境の厳しさは継続しております。

このような環境の中、当社グループは、お客様の健康維持・予防から介護・終末期のケアまでを一貫してサポートする「トータルヘルスケア戦略」の実現を目指し、強みであるカウンセリングを中心とした接客体制の強化、お客様の利便性向上に向けた電子マネーによる決済サービスの多様化、調剤事業の更なる成長に向けたクリニック併設店舗の拡大、調剤業務支援機器及び医療事務の活用による調剤業務の生産性向上等に積極的に取り組みました。加えて、訪日外国人向けのマーケティング強化及び品揃えの拡充を図ることで、収益の底上げに努めてまいりました。

店舗の出退店等につきましては、ドミナント構築に向けた関東・中部・関西エリアへの集中出店を強化し、その結果として、50店舗の新規出店、5店舗の中・大型改装、3店舗の閉店を実施いたしました。これにより、当第2四半期末における店舗数は1,237店舗(前期末比47店舗増)となりました。

以上の結果、売上高は2,637億1百万円(前年同期比8.1%増、197億61百万円増)、売上総利益は778億75百万円(同11.2%増、78億45百万円増)、販売費及び一般管理費は630億98百万円(同10.4%増、59億40百万円増)、営業利益は147億76百万円(同14.8%増、19億5百万円増)、経常利益は156億64百万円(同16.1%増、21億71百万円増)、これに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は104億61百万円(同16.9%増、15億10百万円増)となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ360億23百万円増加し、3,015億4百万円(前連結会計年度末は2,654億81百万円)となりました。これは主に当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であった影響等により現金及び預金が増加したことに加え、売掛金、建物及び構築物、商品が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ276億13百万円増加し、1,265億31百万円(前連結会計年度末は989億18百万円)となりました。これは主に当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であった影響等により買掛金が増加したことに加え、未払法人税等、退職給付に係る負債、資産除去債務が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ84億9百万円増加し、1,749億72百万円(前連結会計年度末は1,665億63百万円)となりました。これは主に利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は58.0%(前連結会計年度末は62.7%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、当第2四半期連結累計期間の末日が金融機関の休業日であった影響等により、前連結会計年度末に比べて241億48百万円増加し、584億59百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、350億46百万円(前年同期比130.8%増、198億58百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が156億57百万円、当第2四半期連結累計期間の末日が金融機関の休業日であった影響等による仕入債務の増加が224億9百万円あった一方で、法人税等の支払額が49億47百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、86億26百万円(同28.5%減、34億41百万円減)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が280億円、有価証券の償還による収入が230億円あった一方で、定期預金の預入による支出が300億円、有価証券の取得による支出が190億円、有形固定資産の取得による支出が76億2百万円、差入保証金の差入による支出が23億8百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、22億71百万円(同79.9%減、90億11百万円減)となりました。これは主に配当金の支払額が21億63百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月5日の「2019年2月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,311	89,459
売掛金	19,797	24,137
有価証券	13,000	11,000
商品	59,674	61,348
その他	11,580	11,313
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	169,348	197,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,728	47,251
その他(純額)	17,974	20,180
有形固定資産合計	61,702	67,431
無形固定資産		
無形固定資産	2,998	3,117
投資その他の資産		
差入保証金	19,829	20,913
その他	11,638	12,826
貸倒引当金	△36	△28
投資その他の資産合計	31,431	33,710
固定資産合計	96,132	104,260
資産合計	265,481	301,504

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,241	80,690
未払法人税等	4,223	4,654
賞与引当金	1,339	1,233
その他	21,606	25,667
流動負債合計	85,410	112,246
固定負債		
退職給付に係る負債	5,692	5,950
資産除去債務	4,960	5,176
その他	2,854	3,157
固定負債合計	13,507	14,285
負債合計	98,918	126,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	135,661	143,959
自己株式	△9,296	△9,296
株主資本合計	166,431	174,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251	320
退職給付に係る調整累計額	△119	△77
その他の包括利益累計額合計	131	243
純資産合計	166,563	174,972
負債純資産合計	265,481	301,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	243,940	263,701
売上原価	173,910	185,825
売上総利益	70,029	77,875
販売費及び一般管理費	57,158	63,098
営業利益	12,871	14,776
営業外収益		
固定資産受贈益	268	259
受取賃貸料	780	805
その他	327	581
営業外収益合計	1,376	1,647
営業外費用		
賃貸収入原価	534	551
その他	220	208
営業外費用合計	755	759
経常利益	13,492	15,664
特別損失		
減損損失	63	7
特別損失合計	63	7
税金等調整前四半期純利益	13,428	15,657
法人税、住民税及び事業税	4,496	5,379
法人税等調整額	△17	△183
法人税等合計	4,478	5,195
四半期純利益	8,950	10,461
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,950	10,461

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	8,950	10,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	69
退職給付に係る調整額	56	42
その他の包括利益合計	227	111
四半期包括利益	9,178	10,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,178	10,573

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,428	15,657
減価償却費	3,438	3,876
減損損失	63	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△297	△105
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,628	△4,340
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,235	△1,828
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,703	22,409
その他	658	4,317
小計	21,130	39,994
利息及び配当金の受取額	36	9
利息の支払額	△16	△9
法人税等の支払額	△5,963	△4,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,187	35,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△36,000	△30,000
定期預金の払戻による収入	35,000	28,000
有価証券の取得による支出	△28,000	△19,000
有価証券の償還による収入	28,000	23,000
有形固定資産の取得による支出	△8,855	△7,602
無形固定資産の取得による支出	△336	△482
差入保証金の差入による支出	△1,402	△2,308
その他	△473	△233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,068	△8,626
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△8,906	△0
配当金の支払額	△2,215	△2,163
その他	△160	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,282	△2,271
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,163	24,148
現金及び現金同等物の期首残高	47,676	34,311
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,513	58,459

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。